

ホンモロコ天然卵からの親魚養成とその採卵

根本守仁・岡本晴夫・片岡佳孝・米田一紀

1. 目的

県では、近年著しく激減したホンモロコ資源の回復を目的に、平成 18 年度から大量種苗生産放流が実施されている。

水産試験場では、天然卵からの親魚養成 (F0) と (公財) 滋賀県水産振興協会が実施する大量種苗生産用親魚 (F1) にするために必要な卵の供給を実施した。

2. 方法

1) 親魚養成

①天然卵の採集

平成 28 年 5 月 2 日から 6 月 10 日に、西の湖に流入する山本川では 3 回、長浜市海老江地先では 1 回、柳の根や藻等に付着したホンモロコ卵を採集した。

②飼育管理

採集した卵から得られたふ化仔魚を、30L 水槽に、1 水槽あたり約 2,000 尾となるように計数して収容した。収容後はツボワムシを給餌した。30L 水槽での飼育期間は約 2 週間とした。

その後は、40 m²の屋外池に放養して飼育した。放養から 2 週間はワムシおよびアルテミア、それ以降は配合飼料を給餌した。

2) 経年魚からの採卵

平成 25~27 年度に生産した親魚から採卵を行った。採卵は、4 月 14~15 日および 5 月 7~10 日に実施した。採卵方法は、自然産卵による採卵とし、水面に浮かべた人工基体に産卵したものを回収した。

3. 結果

1) 親魚養成

①天然卵の採集

山本川で 28,527 尾、海老江地先では 2,283

尾、合計 30,810 尾のふ化仔魚を得た。

②養成

育成期間中は、特にトラブル等がなく、順調に育成することができた。過密な池もみられたことから、随時、間引きを行った。

平成 28 年 11 月時点での年齢別の親魚量を表 1 に示した。0~2 歳魚で、合計 22,548 尾、195.2kg の親魚を生産できた。

表 1 年齢別のホンモロコ親魚生産結果

年齢	池数(面)	尾数(尾)	重量(kg)
0歳	2	7,396	38.4
1歳	3	9,612	94.1
2歳	2	5,541	62.8
合計	7	22,548	195.2

2) 経年魚からの採卵

採卵結果を表 2 に示した。4 月 14~15 日に 3,100,000 粒、5 月 7~10 日に 462,000 粒を採卵した。年齢別にみると、2 歳魚からの採卵量が最も多かった。

卵はすべて (公財) 滋賀県水産振興協会へ提供した。

表 2 ホンモロコ採卵結果

年齢	池数	採卵数量(粒)		
		4/14~15	5/7~10	計
1歳	3	590,000	82,000	672,000
2歳	2	1,870,000	126,000	1,996,000
3歳	1	640,000	254,000	894,000
合計	6	3,100,000	462,000	3,562,000